



熊本県小売業 SAFE 協議会を開催しました。

熊本労働局では、今年度新たに2団体を加えた5事業場及び5団体で構成する、熊本県小売業 SAFE 協議会の令和6年度第1回目を開催しました。

実施日	令和6年7月25日(木)
場所	熊本地方合同庁舎A棟1階記者会見室(熊本市西区春日2丁目10-1)
内容	令和5年度SAFEアワードにノミネートされたKMバイオロジクス(株)様から転倒災害防止対策の取組についてご講演をいただいた後、協議会構成員事業場において取り組まれている安全衛生対策を発表してもらうことにより、好事例や問題点等の情報を共有しました。

本協議会は、冒頭に、熊本労働局労働基準部長から、「行動災害により従業員の方が休業等すれば、経営活動にも影響を及ぼす可能性がある。転倒災害防止に積極的に取り組んでいるKMバイオロジクス(株)様のご講演から転倒防止対策のヒントが得られると思うので参考にしてほしい。」とのメッセージが伝えられました。



KMバイオロジクス(株)様からの講演の様子

KMバイオロジクス(株)では転倒災害が連続したことを契機として、中央労働災害防止協会の「転びの予防体力チェック」を参考に『転倒防止セミナー』を開催し、体力チェックを通じて自身の体力がどの程度かを自覚することから始めた。そのことにより体力維持のため、日常的にスロースクワット等に取り組んでいるとのことでした。ハード面だけでなくソフト面の対策も重要であることを共有しました。

熊本労働局では、今後も小売業の労働災害防止のための施策を推進してまいります。



労働基準部長挨拶

その後、熊本労働局担当者から労働災害発生状況、第14次労働災害防止推進計画のアウトプット指標の達成状況、エイジフレンドリー補助金、STOP!熱中症クールワークキャンペーン等について説明を行った後、KMバイオロジクス(株)生産統括部管理課の坂口様より転倒防止対策についてご講演をいただきました。

